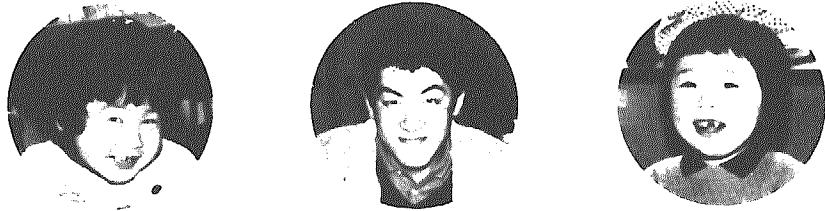
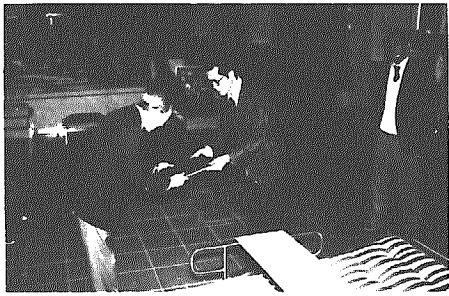


# いい顔、ありがとう

●この広報紙にあなたが  
写っていましたら、総務課  
企画係 ☎824-111 内線  
2102へご連絡ください。  
写真をさしあげます。



巻ライオンズクラブが結成20周年を記念して村にベッドを寄付



## 福祉に役立てて 20周年迎え、プレゼント

結成二十周年を迎えた、巻ライオンズクラブ（石田三夫会長）が先月九日、村にベッドなどの福祉器具を寄付しました。これは、同ライオンズクラブが四十年三月二十日に結成され、今年二十周年を迎えた、その記念事業の一環として行ったもので、十七日の記念式典に先立ち、石田会長らが役場を訪れ、金子村長に在宅寝たきり老人用のベッド二台と携浴浴そう、床ずれ防止エアマットをプレゼント。本日に役に立つ贈りものとお喜び、村長はじめ福祉担当係も大

▼また来てね——卒園シーズンを前に先月、村内各保育園では、おたのしみ会（お別れ発表会）が盛ん。19日に行われた間瀬保育園のおたのしみ会では、地区のおじいちゃん、おばあちゃんら23人が特別招待されました。自己紹介のあと、園児たちは、この日のために練習した自慢の歌や踊りを披露したり、じゃんけんレイとりゲームを楽しんだりして交歓。「おばあちゃん、また来てね……」と手を取り合う一幕も見られました。



▼フーツ、もう満腹——先月8日、和納第2保育園で少し遅い「もちつき大会」が開かれました。「よいしょ、よいしょ」の大歓声の中でついたモチは、本格的なキネつきもちと、もちつき機でついた2種類。出来たてのモチは、早速お昼のメニューに。息をはずませ食べる、きなことモチにぞうには、格別の味——みんな、おいしそうに味わっていました。



## 一人で、 悩まずに



〈竹内相談員〉

身体障害者  
相談員制度

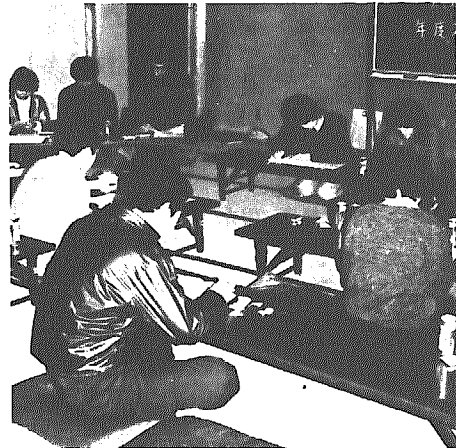
身体に障害のある皆さんの福祉向上と社会復帰を図るため、各種の相談に応じ、適切な指導・援助を行うために設置されている「身体障害者相談員」に竹内一義さんが再任されました。障害についてはご相談は、お気軽にどうぞ。相談は口頭、手紙、電話のいずれも受け付けています。▽身体障害者相談員 竹内一義（和納七区 ☎823-0611）

▼参加しませんか——レクリエーションや野外活動などとおして、心身を鍛え、友情を深めよう——と活発な活動を続けている岩室村青年団（荒川直樹団長＝団員23人）。先月14日、公民館で年度末総会が開かれ、1年間の活動報告が行われました。「今、青年団体活動も過渡期に来ており、活性化のためにももっと多くの仲間から参加してほしい」と団員不足を訴える荒川団長。今年は国際連合の提唱する国際青年年。あなたも青年団活動に参加しませんか。



## 大正時代から続く 西中・牛島地区の「バサ講」

婦人だけの憩いのひととき——「バサ（おばあさん）講」が先月十一日、西中の牛島地区でありました。婦人だけの親ぼくと交流の場になっている、このバサ講は、今から七十年以上も前の大正初期から続いているもので、毎年、春と秋の二回行われています。バサ講といわれるように、参加する婦人はお年寄りから圧倒的。宿と呼ばれる当番家のお寺の住職を招き、法話を聞いたり、お茶を飲みながら世間話をしたりして、年一回だけの集いを、ゆっくり楽しんでいました。



▼和納の盆唄などを収録——県内の埋もれた民謡・童話などの収録で知られる、民俗民謡研究家の近藤忠造さん（県教育庁文化行政課参事）が、二月二十日、和納五区の竹内松太郎さん宅を訪れ、和納地区に伝わる民謡などを収録しました。当日は、村文化財保護委員長の斎藤嘉吉さんをはじめ、地区の愛好者ら十人余りが参加。和納「はやおけさ」の元唄といわれる白引き唄や和納いそ節、盆唄、数え唄など十曲余りの古い郷土民謡が収録されました。



手拍子に合わせて和納盆唄や数え唄などが披露され、カセットテープに録音される。



「元気でがんばれよ「ハイッ」」先生や在校生に見送られ145人が巣立っていった

## 15歳の友情 永遠に……

岩室中学校卒業式

二年続きの記録的な豪雪に見舞われたこの冬。でも、さすがに三月ともなると、すっかり消え、春が一面に——。三月と言えば、卒業シーズン。先月十四日は岩室中学校の卒業式。卒業生は期待と不安を胸に秘め、高校、社会へと新しい第一歩を踏み出していました。